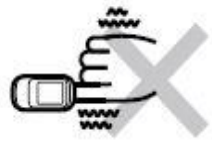


こんなときは正しく測定できません！



手や本品が冷たい

冷たいと血管が収縮して血流が悪くなり測定できません。

- 指先が冷たいときは、マッサージなどで指先を温め、血流を良くしてから測定してください。
- 本品が冷たいと、測定する指先を冷やしてしまうことがあります。暖かいところで本品を少し温めてから測定してください。



動いている

脈波が正常に検出できないと、測定できません。

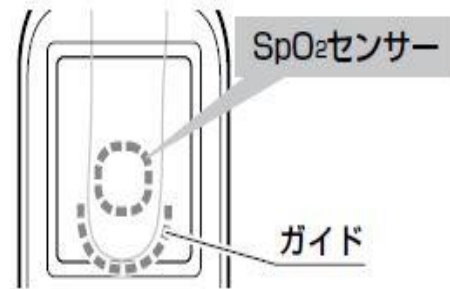
- 測定中は指先や身体を動かさないようにしてください。
- 歩いたり、驚いたり、心身の状態で脈は乱れてしまいます。しばらく安静にしてから測定してください。

光が指にあたらぬ

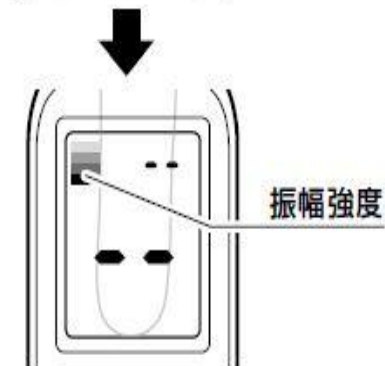
機器内側の発光部と受光部に指が触れないと測定できません。

- 発光部と受光部に触れるように指を奥まで差し込んでください。また、爪が長い場合などは指が発光部と受光部にとどかないことがあるので注意してください。

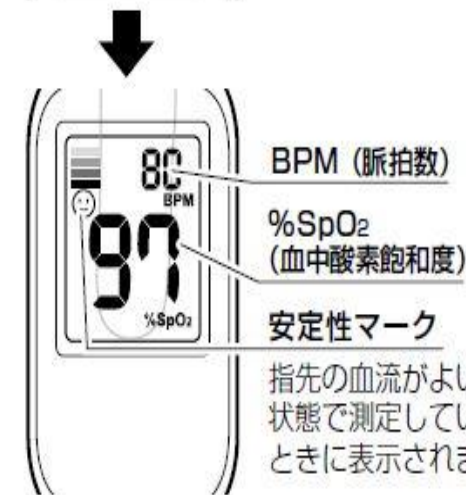
測定する



- 本品の指挿入部内のガイドに触れるまで指を挿入してください。
- 指を強く奥まで挿入したり、挿入部を無理に開いたりしないでください。



- 脈波が検出され、振幅強度が表示されます。



- バックライトが点灯し、測定値が表示されます。(5～10秒後) 測定値は、数値が安定してから読んでください。(指を挿入してから約8拍後)

指先の血流がよい状態で測定しているときに表示されます。

1. 指を挿入する

本品を保持し、表示部が手の甲側にくるように、指を挿入してください。



自動的に測定が始まります。

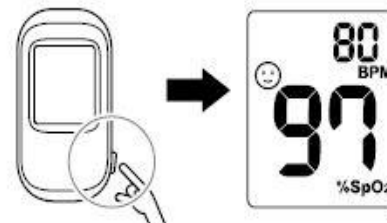


2. 指を抜く

自動的に測定が終了し、約3分後に電源が切れます。

前回値表示

電源が切れている状態で前回値表示ボタンを押すと、前回の測定を終了したときに表示していた値を表示します。



E (測定エラー) は記録されません。

※ 測定結果表示中に前回値表示ボタンを押すとバックライト(約3秒間)が点灯します。

● 表示と意味

表示	意味
	電池交換マーク 電池が消耗していることを示します。 点滅表示された場合は、電池を交換してください。 点滅から点灯になると、測定できません。
%SpO₂	血中酸素飽和度の単位
BPM	脈拍数の単位 拍/分 (Beat Per Minute)
	振幅強度 検出された脈波の振幅の強さを示します。 強さは4段階で表示され、バーの数が多いほど振幅が強いことを示します。
	安定性マーク 指先の血流がよい状態で測定しているときに表示されます。 表示がなく、バックライトがオレンジ色のときは、指先が冷たい状態になっていないか等、指の状態を確認してください。
E	エラー表示 測定できていないことを示します。(▶P19)

クリップ部をつまみ、指挿入部を開くこともできます。

